

ジュニア科学クラブ 3



春休みの天体観察

この春休みにぜひ見てみたい天体の見つけ方、楽しみ方を紹介します。この時期は、冬と春の星、両方が観察できます。まずは、冬の代表オリオン座と春の代表北斗七星あたりの星をわかりやすく解説します。

また、夕方の空の惑星もおもしろいです。金星、火星、木星の動きがおもしろく、観察が難しい水星も28日ごろから見つけるチャンスがあります。

さらにプラネタリウムでは、こうした星たちの未来の見え方や、肉眼では見えない天体の話題など、もりだくさんで楽しみましょう。

冬の星はオリオン座を中心に 春の星は北斗七星から伸ばして確認
オリオン座をめあてに★印で示した7つの1等星をすべてチェックしましょう。また北斗七星から「春の大曲線」も確認しましょう(図1)。

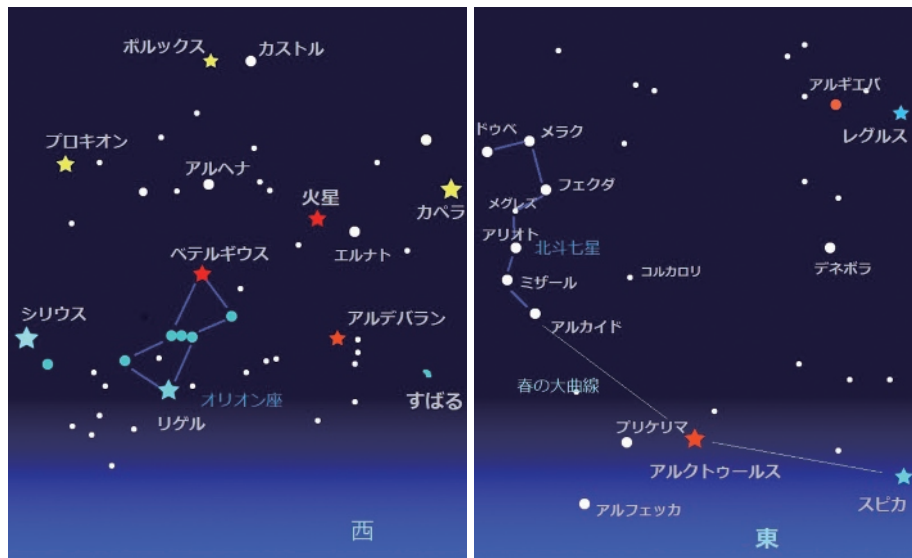


図1. 3月19日夜9時の空の様子。西には冬の星、東には春の星が見える

夕方の惑星の動き クラブの前から見てみよう 金星、木星、水星

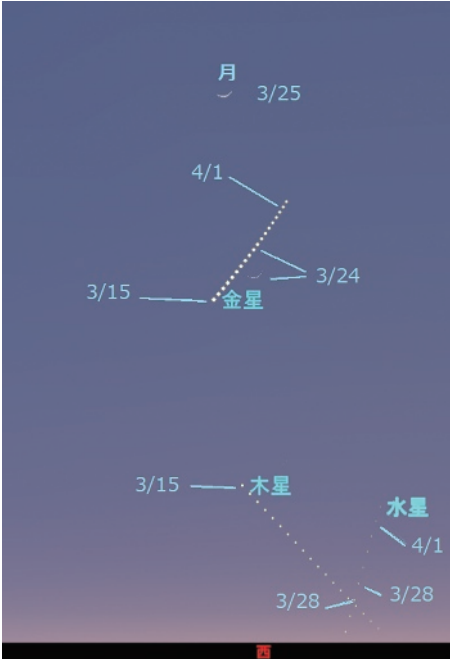


図2. 6時30分の西空の惑星の位置

図2は、6時30分の西の空の惑星と月の様子です。3月15日から4月2日まで、1日おきの惑星と月の場所をステラナビゲータというPCのアプリで描いてみました。

図の中の3/15などは日付で、そのときに線の先にある天体の場所を示しました。3月24日には月と金星が近づき、3月28日には水星と木星が近づきます。水星は見つけにくいのですが、見つけるチャンスです。金星と木星は毎日だんだん離れていきます。金星と木星はとても明るいのですぐにわかりますから、本当にこんな風に見えるのか、ぜひチェックしてみましょう。

わたなべ よしや(科学館学芸員)

■3月のクラブ■

3月19日(日) 10:10 ~ 10:45ごろ

◆集合: プラネタリウムホール(地下1階)
9:30~9:55の間に来てください

◆もちもの: 会員手帳・会員バッジ

◆内容: 10:10~10:45 プラネタリウム「春休みの天体観察」見学

- ・途中からは入れません。ちこくしないように来てください。
- ・プラネタリウムは、一般の方と一緒に見学していただけます。ご家族の方も、観覧券をご購入のうえご覧いただけます(※満席の場合はご覧いただけません)。
- ・12月のクラブでは、「てんじ場たんけん」は行いません。

※変更等がある場合があります。

クラブ当日についての詳細は、科学館公式ホームページのお知らせ欄(<https://www.sci-museum.jp/>)または右の2次元コードよりご確認ください。また、科学館の最新情報も合わせて科学館公式ホームページにてご確認ください。

